



広・仁方・川尻地区における野生サルの市街地出没に伴う人身事故について

令和6年12月4日以降、市内の各地区（広・仁方・川尻）において野生サル（1匹）の市街地出没による目撃情報が相次いでおりましたが、このたび、生徒がサルと遭遇し、けがを伴う事故が1件発生しましたので、お知らせします。

1 サルの目撃情報（日時・場所）

① 12月4日（水）15時頃

呉市広徳丸町

② 12月5日（木）12時頃

呉市仁方錦町

③ 12月5日（木）16時頃

呉市川尻町

※情報提供元：3件とも広警察署



2 事故の概要

日時 12月6日（金）8時頃

場所 呉市仁方本町2丁目地内の歩道

被害者 生徒1名（中学校2年生）

状況 生徒が登校時に、サルと遭遇したことに驚き、転倒し、首の痛みを訴えている。

3 事故への対応

農林水産課から学校安全課に情報を共有し、関係校において被害に遭わないよう児童生徒に指導し、保護者に対して注意喚起のメールを配信しました。

また、12月4日、5日に農林水産課職員が現場を確認したところサルを発見できませんでした。また、広警察署によるパトロールにおいても発見の情報はありません。

事故のあった12月6日にも、農林水産課及び学校安全課職員が現地に急行し確認を行いました。が発見には至っていません。

引き続き、広警察署及び有害鳥獣捕獲班・住民と連携し、パトロールの強化や、状況に応じて追い払いや捕獲など、必要な対策を講じていきます。

なお、教職員及び学校安全課職員による登下校時の児童生徒の見守りを12月9日（月）に実施します。